

事業計画

「バンコクのスラムにおける保育者、子ども、保護者を対象とした研修事業」

アジア保育教育交流推進実行委員会

1 目的

タイは東南アジアの中で経済発展が目覚ましい国の一つであるが、都市と農村の格差が大きく、また大都市においてもスラム地区が存在しており、経済的な理由や劣悪な子育て環境の中で子どもたちの教育の機会がうばわれています。

当会は、これまで大阪で子育てに関わる活動を展開してきた経験を生かし、大国内のスラム地区および少数民族の居住地の保育園および図書館における保育・教育・図書館事業の支援のため、現地 NGO と連携し、大阪への招聘研修の実施など現地 NGO スタッフのスキルアップを図る活動を展開してきました。

また、2008 年度、2009 年度には、国際ボランティア貯金の寄付金配分により、バンコクのスラム地区 31 箇所の保育園や図書館スタッフを対象にスタッフのスキルアップを図る研修を開催してきました。

これらの研修を通じて、ともに遊ぶことの重要性を実感しながらも、どのように子どもに遊びを提案すればいいのか、その意義を保護者に伝えればいいのか分からないと悩んでいる保育園・図書館スタッフがあり、実際の子どもを対象に遊びを展開する様子を見ることで（公開保育）具体的に理解できるのではないかと各園での公開保育の希望がでていました。また、保護者に親子で心を通い合わせ、遊ぶ意義を伝えるものの、なかなか理解してもらえないという悩みも出されており、「親子で遊ぶ」研修を実施してほしいと要求がありました。

このような状況を受けて、今回の研修事業においては、1ヶ所に集まる保育士や図書館スタッフだけの研修ではなく、現地に出向き、子どもや保護者たちとの保育を公開して実施することをめざし、より実践的な手法で研修を実施し、保育園・図書館スタッフの実践的なスキルアップを目指すこととしました。

2 現地の状況

2 年度にわたる研修会の実施により、1. 子どもとともに遊びを楽しむことの快さ、2. 身の回りにある廃材等が子どもにとってとても大事な教材になることの重要性、3. 自分たちで絵本を作る、創造するすばらしさなどを実感する保育園・図書館スタッフが増し、保育園・図書館の遊びが変わってきた。これは2回の研修会に対する評価からも現れている。

保育者自身が重要性を体感する機会になったものの、それを子どもに、あるいは保護者にどのようにアプローチすればよいか悩んでいる保育園・図書館スタッフがあり、子どもや親子向けの公開保育のニーズが上がっている。

3 全体の事業

2 年間のバンコクのスラム地区を対象とした研修の積みあげとして、31 箇所の保育園、スラム地区内図書館で、子ども対象、親子対象とした遊び（手作りおもちゃ・からだを使った遊び・絵本）の公開保育を開催し、子どもへの関わり方を直接指導するとともに、親と子どもがともに遊びや絵本を楽しむことを実感する機会を提供し、その指導現場を保育園・図書館スタッフに見学してもらうことを通じて、今後の具体的な子ども指導・親指導の充実を図ります。

あわせて、スラム地域の子育ちを保護者とともに地域住民が支えるために、自らを好きだと感じる子どもを育てるための講演会をスラム地域住民委員会とともに開催します。

(1) 「出前:ともに遊ぶ公開保育」「出前:親子あそび公開保育」

保育園・図書館の子どもを対象とした遊びの実践研修、保育園・図書館に通う親子・親を対象とした遊びの研修をバンコク市内のスラム地区の保育園、図書館から選考して、開催する。

各出前の公開保育は、子どもを対象としたもの、親子を対象としたもの、子どもの年齢、保育園や図書館においての従来の活動、子どもや親の興味などを、保育園・図書館スタッフと調整して実施する。

具体的な遊びのテーマは、手作りおもちゃを作ってあそぶ、からだを動かして遊ぶ、絵本を楽しむなど、2年間の研修の中で実践してきた内容を土台に組み立てる。

公開保育の後には、当該保育園・図書館のスタッフとともに、見学者の他の保育園・図書館のスタッフとともに、遊びの進め方、子どもへの対応、親への対応などについて意見交換を行う。

(2) 保育園・図書館スタッフを対象とした「公開保育実践研修」

「出前:ともに遊ぶ公開保育」「出前:親子遊び公開保育」を実施した保育園・図書館で、それぞれの所のスタッフと、見学した他の保育園・図書館のスタッフで研修会を実施する。内容は「子どもや親子へのアプローチの方法について」「子どもや親子へのかかわり、指導者の対応」などをテーマに意見交換を行い自らの保育実践に行かす実践的な研修とする。

(3) 住民委員会と連携した講演会

子どもの育ちは、保護者と保育園や図書館スタッフと地域とが力をあわせることで豊かになっていく。そこで地域住民を対象とした子育て講演会を実施する。

地域住民対象講演会のテーマ “自らを誇れる子どもに育てたい”

4 具体的な事業

(1) 事業の着手時期・完了予定時期 平成 22 年4月～平成 22 年3月

(2) 事業の対象地域

タイ バンコク都内 スラム地区 10ヶ所

公募し、保育園あるいは図書館を選定する。

(3) 援助対象者・援助対象者数

2年かの研修事業に参加した、スラム地区55カ所の保育園・図書館のうち、公募により①を4ヶ所、②を6ヶ所、③を10ヶ所

① 「出前:ともに遊ぶ公開保育」(子ども約30人)×4ヶ所

② 「出前:親子遊び公開保育」(親子約30組)×6ヶ所

③ 「公開保育実践研修会」(各10人位×10ヶ所):上記①および②を見学参加した保育園・図書館スタッフ

④ 「スラム地区住民対象講演会」 約200人

(4) ①「出前:ともにあそぶ公開保育」、②「出前:親子遊び公開保育」、③「公開保育実践研修会」④「スラム地区住民対象講演会」の公募の方法

2008 年度・2009 年度の研修参加者や研修・教材開発センター会員のニーズを受け止め、開催保育

園・図書館を選定する。

子どもにどのようにアプローチすればいいのか分からないなどの悩みや意見が出ている保育園・図書館から、子どもを対象とした①「出前:ともにあそぶ公開保育」、親子を対象とした②「出前:親子遊び公開保育」を実施する保育園・図書館を事前に公募する。

③「公開保育実践研修会」の参加者として、①②を見学する保育園・図書館スタッフを、31箇所のスラムの保育園、また図書館スタッフから公募する。

(5)「出前:ともにあそぶ公開保育」

前期2ヶ所、後期2ヶ所で実施し、保育園で講師が子どもや親の状況について事前把握しながら、子どもとのあそびを通じた保育を実践する。

(6)「出前:親子遊び公開保育」

前期4ヶ所、後期2ヶ所で実施し、保育園で講師が事前に子どもや親の状況について事前に把握しながら、参加希望した保護者とともに、子どもあそびを通じた保育実践を行う。

(7)「公開保育実践研修会」

事前に公募した保育園・図書館のスタッフが上記の公開保育の実践を見学し、その後が実践について意見を出し合い学ぶ場とする。

(8)「スラム地区住民対象講演会」

スラム地区住民と連携し、事前に広報活動を行って参加を呼びかけ、子育てをテーマとした講演会を開催する。

(9) 講師・スタッフの派遣

5月 保育士または幼稚園教諭合わせて、3人

運営スタッフ 1人

9月 保育士または幼稚園教諭合わせて、3人

講演会講師:大阪市あいりん地区 わかくさ保育園園長(予定)

運営スタッフ 1人

(10) 公開保育、公開保育実践研修、講演会のための事前準備

保育所の公募、研修参加者の公募、資料作成、教材準備等

講演会の事前準備、事前の呼びかけ

(11) モニタリング

2回にわたる研修事業について、保育園・図書館での実践の状況や、保育園などと親とのかかわり、子どもと親とのかかわりなどについて、その実態について調査検証するためスタッフを派遣する。

実施時期 平成23年3月

派遣スタッフ 保育士 2名

5 具体的な日程

(1) 第1回(5月)研修事業

- ①「出前:ともにあそぶ公開保育」:2ヶ所
- ②「親子遊び公開保育」:4ヶ所
- ③「公開保育実践研修会」:6ヶ所

5月

1日目(火)

クロントイスラム・チュワパーンスラム視察(スラムの実情・課題を学ぶ)

2日目(水)

シーカーアジア財団にてオリエンテーションおよび研修の準備作業
(タイにおける子育て・子育ての課題を学ぶ)

3日目(木)「出前:ともにあそぶ公開保育」:1ヶ所目

「公開保育実践研修会」:1ヶ所目

保育園の場合(午前)

9:00～保育園に出向き、子どもの状況を引き継ぐ

10:00～

①「出前:ともにあそぶ公開保育」

子どもと一緒に遊びを楽しむ

11:00～

③「公開保育実践研修会」

実践者の意図を学び、見学者も意見を出し合い互いに学びあう場

図書館の場合(午後)

14:00～図書館に出向き、子どもの引継ぎをする

15:00～

①「出前:ともにあそぶ公開保育」

子どもと一緒に遊びを楽しむ

16:00～

③「公開保育実践研修会」

実践者の遊びの展開方法を学び、見学者も意見を出し合い互いに学びあう場

4日目(金)「出前:ともにあそぶ公開保育」:2ヶ所目

「公開保育実践研修会」:2ヶ所目

保育園の場合(午前)

図書館の場合(午後)

5日目(土)

午前 「親子遊び公開保育」:1ヶ所目

「公開保育実践研修会」:3ヶ所目

9:00～保育園・図書館に出向き、子どもや保護者状況を引き継ぐ

10:00～②「親子遊び公開保育」 親子で遊びを楽しむ

11:00～③「公開保育実践研修会」

公開保育見学参加の保育園・図書館スタッフと実践研修会(希望する保護者があれば参加可)

午後 「親子遊び公開保育」:2ヶ所目

「公開保育実践研修会」:4ヶ所目

13:00～保育園・図書館に出向き、子どもや保護者状況を引き継ぐ

14:00～②「親子遊び公開保育」 親子で遊びを楽しむ

15:00～③「公開保育実践研修会」

公開保育見学参加の保育園・図書館スタッフと実践研修会(希望する保護者があれば参加可)

6日目(日)

午前 「親子遊び公開保育」:3ヶ所目

「公開保育実践研修会」:5ヶ所目

午後 「親子遊び公開保育」:4ヶ所目

「公開保育実践研修会」:6ヶ所目

7日目(月)

4日間の実践総括会議

公開保育参加の保育園・図書館スタッフと総会会議

(2) 第2回(2月) 研修事業

①「出前:ともにあそぶ公開保育」:2ヶ所

②「親子遊び公開保育」:2ヶ所

③「公開保育実践研修会」:4ヶ所

平成23年2月

1日目(火)

クロントイスラム・チュワパーンスラム視察(スラムの実情・課題を学ぶ)

2日目(水)

シーカーアジア財団にてオリエンテーションおよび研修の準備作業

(タイにおける子育て・子育ての課題を学ぶ)

3日目(木)「出前:ともにあそぶ公開保育」:3ヶ所目

「公開保育実践研修会」:7ヶ所目

保育園の場合(午前)

図書館の場合(午後)

4日目(金)「出前:ともにあそぶ公開保育」:4ヶ所目

「公開保育実践研修会」:8ヶ所目

保育園の場合(午前)

図書館の場合(午後)

5日目(土)

午前 「親子遊び公開保育」:5ヶ所目

「公開保育実践研修会」:9ヶ所目

午後 「親子遊び公開保育」:6ヶ所目

「公開保育実践研修会」:10ヶ所目

6日目(日)

④「スラム地区住民対象講演会」

大阪市西成区のあいりん地区で保育園事業を長年展開されてきたわかくさ保育園園長に講演を依頼する。

13:00～15:00 講演会

15:00～16:30 交流会

7日目(月)

3日間の実践と講演会の総括会議

公開保育参加の保育園・図書館スタッフと総会会議

講演会参加の住民委員会のメンバーと交流会

(3) モニタリング

時期 平成23年3月4日(金)～7日(日)

5月・2月に実施した保育園・図書館を視察、研修参加者と交流会